





## 布教師と胡瓜きゅうり

青年Nは、この道に志し、人を助けるためにはどうしても、自らを苦しめて、人様に楽を与えて頂きたいと思い、神様にお願いで、寂しい桑山の中の祠を宿とし、公園や駅や寺の拝殿で野宿しながら、熱心におたすけに歩いてきたが、或る夜あまりの空腹に耐えかね、こうもりがさを杖として、田の間の細道をたどって行った。附近には、野井戸もなく、小川の流れをのんで空腹を満たしたが、かえって胸ぐるしくなり、腹の空きは治まらなかった。

この時、いかなる天魔が魅入ったか、Nの手は、畑の胡瓜にかかり、矢庭に出て来た瓜番につかまえられてしまった。

Nは、己の尊い天職をおもい、悪心をおこした自分を愧じ、今は衷心より詫びて、許しを乞うたが、瓜番は、この間からちよいちよいやられていたが、それもきつと前前の仕業だろう。主人はまだ帰らないが、帰って来たかどうか手荒なことをされるか、わからないぞと、嘲笑するのであった。

その中に主人が帰って来た。Nは主人にむかい、「どうも申しわけありません。これこれの者で、以後はつつしみますから、どうぞごかんべん下さい」とあやまったが、「ふふん、教をひろめる者がさようなこと

をしていいのか、お前さんの心は腐っている。お天道様の様な暖かい心になって、教をひろめるようにせにやならんと、俺はおもう。どうぞだ」そうです。誠に心が出来ていませんで、申しわけありません。何と言われても、いたし方ありません」

その時の主人の言葉は神の言葉のように思われ、Nは、ああ、ありがたい、私の心をみがいて下さる。私の心は、本心に腐っていた。藁一すぢでも人の物を盗んでくれなという御教祖様の御言葉が、しみじみと思ひ出されるのであった。

何か免状を持っているだろうと言うので、Nは、これで許してくれるのかと教師補命の証書を渡した。が、誰か証人をつれて来るまであずかっておく。今晩はおそいから、明日証人をつれて来るがよい。長く来ないと、君の人格にかかわる処置をとる。帰れ、帰れと取りつくしまもなかった。

あくる日Nは、証人をたのむ勇氣もなく、一人で又その農家をたずねたが、その奥さんに、「ただでは許されない。瓜代として五十銭出しておくれ」といわれ、胡瓜二本が五十銭ですか、とおどろいて問うたが、出せなかったら元通りこれをつけておくれと胡瓜を突き出され、又も血の涙を流さねばならなかった。

最早、N青年はなす術も無く、道の先輩をたずねてこのことを相談したが、「君が、胡瓜二本ぐらい何だという高い心でいるから、先方の心も高いのです。君の心が低くなれば、向うの心も低くなるのです。低い優しい心になって、心から頭を下げてお

びして見なさい。きつと許して下さるから」とその教友は語った。

そこでその人から借りた五十銭を持って、三度その農家に参り、今は低いやさしい心からなるさんげの気持で、「野や山を宿としている者に、胡瓜代は大金です。何とぞおゆるし下さい。あなた方は私の心を見がいて下さった御方です。この御恩は一生忘れません。どうぞ御勤弁を願おう存じます」と涙を流してお詫びした。

このNさんの真実の気持は、この度は相手に通じた見え、「以後は気をつけなさい。返してあげますから」と補命の証書は再びNさんの手に返された。

感きわまつて親神様、御教祖様に合掌して感謝の祈りを捧げるさまを、老夫婦はここにことうなずきながら眺めているのであった。

過ぎ去ったことは夢にも悔むでない、これから大きな心になって働いてくれ

（『信仰例話集 真実の道』〈道友社刊〉より）

## 養徳社 よもやま話

○駅近くの詰所に掲げている陽気の宣伝幕が破れてしまった。

経費を節約する為に古い幕を再利用して書き直すことになったのだが、シンナーと塗料の匂いに加えて、細かすぎる作業が神経を刺激する。縮図を見ながらの下書きは一字書くのに数時間もかかるし、シンナーや塗料を使う時は気も遣う。

そんな、普段の業務ではありえない作業を十日程続けて、なんとか完成させた。デザイン担当者の努力と指導力により、綺麗な仕上がりとなつてしまい、表看板まで作り直すことに！

○肩や首のコリをほぐす為には春からラジオ体操を続けている。数カ月、続けた甲斐あって、最近では身体が軽く感じていたのに、先月の健康診断では体重が増えていた。

全身の体脂肪や筋肉量を詳しくみると、昨年より脂肪も筋肉量も増えているのに、両足の筋肉量だけが落ちていた。

脂肪が落ちずに、何故、筋肉が？

### 詰将棋解答

- 八4桂打 同歩 八3金打
- 同玉 八2金 九3玉 七3
- 飛ナル 八3金アイ 九2金
- ヨル 同玉 八1銀打 同玉
- 八3龍 同銀 八2金打まで

お道の家庭雑誌

# 陽気

定期購読中  
定 額 付 受

◎定期購読の誌代は1冊で半年分…1,600円(送料共)  
1年分…3,200円(送料共)

ゆうちょ銀行の青い振込用紙をご利用下さい。  
(口座番号 00990-3-17694 加入者 養徳社)  
希望の号を指定の上、お客様の住所、氏名、  
電話番号をはっきりご記入お願いします。

〒632-0016  
奈良県天理市川原城町 388 養徳社